

■中島敦 小説家。「山月記」で文壇にデビューするも、直後に喘息悪化し、「李陵」等の傑作遺して早世。

なかじまあつし

伊藤博文暗殺1909＝ 東京四谷で、中学の漢文教師の長男に生まれる。

韓国併合・・・1910＝ 1歳：母が離縁となり、継母のもと、

明治天皇没・1912＝ 3歳： 祖父は漢学者中島撫山、伯父にも漢学者が多い環境に育つ。

本格政党内閣1918＝ 9歳：

大暴落・・・1920＝11歳：父の転勤で、朝鮮京城に移住、

原敬首相暗殺1921＝12歳：

水平社結成・1922＝13歳：京城中学校に入学。

関東大震災・1923＝14歳：継母が死去。第三の母が来る。

円本時代始・1926＝17歳：第一高等学校文科甲類に入学、

金融恐慌・・・1927＝18歳：_肋膜炎に罹り、1年休学。その間、小説を執筆し始め、「下田の女」を執筆。

共産党事件・1928＝19歳：「ある生活」「喧嘩」、_喘息の発作が現れ始めたらしい。

世界恐慌・・・1929＝20歳：文芸部委員となり、{校友会雑誌}の編集に携わる。「蕨」「竹」「老人」「巡査のいる風景」、

海軍軍縮条約1930＝21歳：卒業し、東京帝国大学文学科に進学。「D市七月叙景」、

満州事変・・・1931＝22歳：

五一五事件・1932＝23歳：結婚。南満州・中国北部を旅行。

国際連盟脱退1933＝24歳：卒業。大学院に進むとともに、横浜高等女学校の教師となる。「辻南先生」脱稿、

帝人疑獄事件1934＝25歳：_激しい喘息発作で、大学院を中退、以後、生涯苦しむ。{中央公論}懸賞に応募した「虎狩」が選外佳作となり、以後作家を志して習作にはげむ。

二二六事件・1936＝27歳：中国旅行。第三の母が死去。「狼疾記」「かめれおん日記」、

日中戦争始・1937＝28歳：

第二次大戦始1939＝30歳：「悟浄歎異」。_喘息悪化のため、

日米開戦・・・1941＝32歳：_退職し、転地療養を兼ねて、パラオの南洋庁に赴任、「ツシタラの死」「悟浄出世」脱稿。

・・・1942＝33歳：*健康を害して帰京。唐代の伝奇「人虎伝」を素材にした「山月記」が深田久弥の推挽で{文学界}に掲載されて文壇にデビュー。同年の「光と風と夢」も好評で以後創作に専念。「光と風と夢」「南島譚」と相次いで創作集を刊行するが、喘息のため没した。翌年、「弟子」「李陵」が遺稿として発表された。